

ベトサダ ニュース

NPO法人 自立支援事業所ベトサダ

〒065-0012 札幌市東区北12条東10丁目2-3
第5コーポ春1号室

TEL : 011-374-7361 / FAX : 011-374-7381

HP : <https://www.npo-bethesda.com>

MAIL : office@npo-bethesda.com

代表より

最近のベトサダについて

最近やっとな暖かい日が増えてきたように感じますが湿度も高くなってきたことで洗濯物の置きが干遅くなったと感じる今日この頃皆様は置かれましてはいかがお過ごしでしょうか？コロナの第五類に移行、メディアでもコロナ感染の状況把握の放送も少なくなり、街中でもマスクを着用しない人も増えだんだん行動範囲も広まりコロナ前の雰囲気に戻りつつあるなど感じます。私はコロナに感染ししんどい思いをしたのは約一年前、どちらかというと感染後の後遺症の方が大変でした。関節痛に味覚嗅覚が完全になくなり一か月くらいはモヤモヤしながら過ごしたのを覚えています。街中でも仕切り板や消毒液設置といった感染対策も解除しているお店も増え賑わいも戻りつつありますが流石に人が密集している中に行く時はマスクは着用して入る人もまだ多いと思います。最近はいんぷルエンザになる方も多いらしくやはりコロナが落ち着き感染症対策が講じなくなつたことで増えたのでしょうか。やはり病というものはいつの時代もなくなりはないので気を付けなければなど感じます。



しかし道外からもしくは市外からくる方よりも市内で困窮してしまい当施設に入所するといった方が最近増加傾向にあります。理由はまだ何とも言えませんが家賃滞納が理由で住まいを強制退去させられた方、実家に住んでいたが住むことが出来なくなった方が増えている様子です。前まではどちらかというと派遣会社を利用し北海道に赴任してきたが職場環境が悪く仕事が続けられない、聞いていた話と違った、などといった理由で困窮したと当施設に来る方が多かったです。最近あまりいません。コロナが始まる前の話ですが。

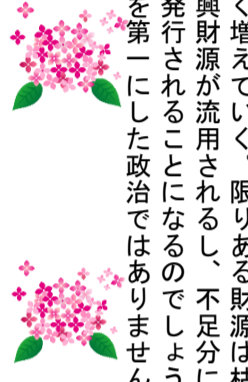
様々な変化が世の中で起きてはいますが常に困窮してしまう方は一定数必ずおられます。物価高騰が続く最近では今後も困窮する方は増えるのではと考えております。物価高騰の波は一律皆様にも影響を及ぼしていると思います。そうした中でもご支援いただき大変感謝しております。無理のない範囲でこれからも何卒ご助力賜りますようお願いいたします。皆様ご健康で幸せに過ごせますようにお祈り申し上げます。

各理事より

【菅原勇也】

隣人を知るところから始めよう
6月21日に通常国会が終わりました。この国会でもさまざまな法案が審議されましたが、中でも昨年末に閣議決定された安部関連三文書の改訂に伴う防衛財源確保法と軍事産業国営化法(防衛設備基盤強化法)が制定されました。前者は今後5年間で43兆円の防衛費の確保に係る法律です。後者は軍事産業に助成金を出し、いざとなれば国有化も可能とする法律です。

安部関連三文書は、これまでの安部政策を一変させる内容で、これを閣議決定で行うこと自体許されないことです。加えて、私が許せないと思っているのはその財源の作り方です。5年間で43兆円という規模ありきで、増税や資金融通を行っている間、数十年にわたって、脆弱な社会保障制度の拡充や教育予算の拡充を求めてきて、政府は限りのある財源をどのように配分するのが政治の役割であるとして拡充されませんでした。この間の消費増税も、社会保障財源にするといながらその実は法人税率の引き下げなどの穴埋めに使われ、社会保障費に充てられることはありませんでした。年金や生活保護費の引き下げが繰り返して行われてきたところですが、しかし今回は、そうではありません。防衛予算の拡充については、何の制限もなく増えていく。限りある財源は枯渇するから、復興財源が流用されるし、不足分については国債が発行されることになるでしょう。私たちの生活を第一にした政治ではありません。

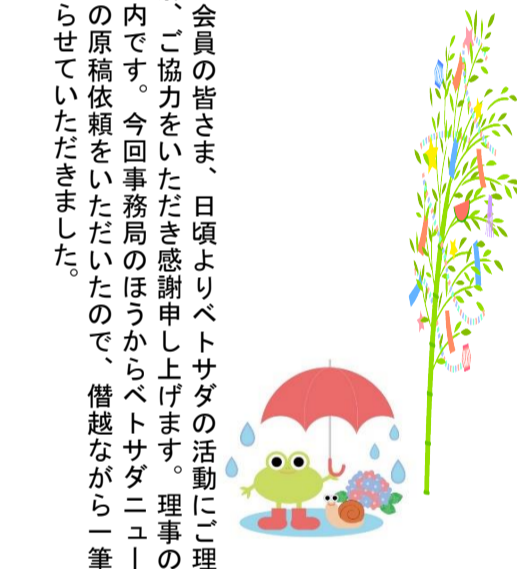


また、入管法の改悪や、LGBT理解増進法(その実はLGBT差別増進法です。)が制定されました。私は、これらの法律の根底には、得体的にしないものの排除が根底にあると思います。難民を装う外国人は国外へ、女子トイレに入ってくるトランス女性には危険な存在。そこに置かれた人たちの尊厳を無視して、多数派が快適であり続けるために異質な存在を排除する思考が貫かれているように思っています。

ホームレス支援の現場でも、ホームレスを怖い存在、汚い存在として排除しようとする社会の流れを感じます。私たちが違う日常生活を送っているホームレスを排除したいという不安はわかりません。しかし、目の前にいる一人ひとりと言葉を交わし、お互いを知ること、その不安感や不安に薄れていくでしょう。頑なに言葉を交わすことすらできないことだつてあるでしょう。それは、お互いの信頼関係が会話をするのに十分ではないからです。

私も、あなたも見ず知らずの人にいきなり話しかけられて、すぐに会話を始めることは少ないでしょう。共通の知人がいるとか、定期的に同じ場所顔を合わせるとか、間を取り持つ何かがありその中で認識し、挨拶をかわし、徐々に信頼関係を築き上げるのです。この信頼関係の醸成は、相手がホームレスであろうと、LGBTQsであろうと、外国人であろうと、あるいは家族であろうと変わりません。力をもって威嚇することでもたらされる平和は、決して安全なものではありません。常に緊張関係のうちにあり、薄氷の上に築かれた平和です。冒頭述べた各種の法律は、私たちの社会の土台をどんどん削っていくような法律だと私は思います。

いつもベトサダにお心を寄せてくださる皆さまは、ベトサダを通じてホームレスを知り、社会を知り、一人でも多くの方が生きやすい社会を作ろうとお働きを頂いている方々です。知ることを通じて、不安は少しずつ取り除かれていくことは、実感を感じているのではないかと思います。ホームレス支援の現場は、社会の縮図でもあります。どうぞ、今後ともベトサダへの支援を頂きますようお願いいたします。



理事【池田賢太】
会員の皆さま、日頃よりベトサダの活動に「理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。理事の山内です。今回事務局のほうからベトサダニュースの原稿依頼をいただいたので、僭越ながら一筆取らせていただきました。

さて、「コロナ禍」なるものが始まって三年余りが経ちました。ここに至るようになってきたことは収束に向かっているようにも見えます。もちろんこれからまた事態が悪化するということも想定されます。今もコロナの影響で苦しんでいる方がいらつしやるので、コロナ禍が過去の話だとは軽々には言えません。それでもここで、あえてコロナ禍を振り返った話をすることを許してください。

コロナ禍の何が怖かったか。たしかにコロナウイルスの感染力の強さや繰り返す襲ってくる流行期の到来は怖かった。しかし私にとつては、コロナ禍の中で我々のふるまうべき態度を迫る有形無形の圧力が一番怖かったように思います。告白すると、私の行動の指針になっていたのはマスコミが連日報道した専門家たちの言説ではなく、周囲の人たちの様子や反応でした。この是非は置くとして政府からの明確な行動の制限が示されることはありませんでした。その代わりに「自粛要請」によって互いに監視しあうような雰囲気醸成され、「自粛警察」などと呼ばれる人も登場しました。

彼らの行き過ぎた「忠告」を目にしても周りは「非常事態なのだから仕方がない」という空気。誤解を恐れずに言えば、私はコロナ禍をウイルスよりも人の目を気にしながら過ごしていたようにも思います。そして「ああ、8年ほど前の日本もこんな感じだったのだろうか？」などと思ったりもしたのでした。

ところで今年の5月末に、大通駅構内のベンチで若い男性がナタを振り回して逮捕される事件がありました。市民の憩いの場で起きたセンセーショナルな事件として報道されましたが、実は構内では近年ほど前からホームレスの人と駅員との間でトラブルがずっと続いていたのです。駅員によると、一般の人から「特定の人間が長時間占拠している」との苦情がコロナ禍以降に急増して対応せざるを得なくなったそうです。ナタを振り回した男性は「たむろしている人を立ち退かせ、成敗するためにやった」と供述していたとのこと。もちろん背景には様々な要因が考えられますが、コロナ禍によって「はみ出し」ているように見えた人々に対して、人々が攻撃的になった末の出来事とみることもできます。そう考えるとこの事件は起こるべくして起きたと言えるのかもしれませんが、そしてその構図は自粛警察の話と通じているようにも思えます。

さて私は、あの時自粛警察になった人たちはあと数年後に何を思うのだろうか。ちょっと斜に構えて考えてみたり、結局その時に何も言えなかった自分もその空気をつくっていった側なんだよなと悶々としてたりしながら、そしてロシアがウクライナに侵攻し、日本政府が防衛費を増額しようとしている中で、コロナ禍をどのように振り返ればよいのか、もう少し考えていきたいと思います。

スタッフより

理事【山内太郎】

夏至の候、一日の長さがうれしく感じられる季節になりました。ベトサダ新聞をご覧の皆様、如何お過ごしでしょうか。札幌ではこの季節、様々なお祭りや催事が行われていきます。お祭り等が行われ活気が戻った街並みや人々を見ると、何気なくそして当たり前だった日常がやっとな帰って来た感じがしますね。

さて、この稿を書いている時には数年ぶりに盛り上がりを見せたよさこいソーラン祭りも終わり、北海道神宮例祭が始まりました。別名札幌祭りは明治五年に開催されたのが始まりと言われています。(諸説あり)明治十年には札幌の人々から神幸を願う声が上がりました。市内の宮大工二人が神輿を作り上げ神輿渡御が始まったそうです。祭りのクライマックスは何と言っても神輿渡御ですね。宮出しから始まり宮入まで大勢の人の手で渡御が行われる様を見るときはとて感心です。私共は、とある町の神輿会に入っていた事があって今でも神輿渡御を見るとその当時の気持ちを思い出します。ただ、神輿担ぎはつらいもので今はもう一度担ぎたいとは思いません。担いだ時の歩行の仕方や交代のタイミングなど決められた事も多くあり特に街中を回り終わり神社へ宮入の際には真っすぐに神輿が入らないと何回もやり直しさせられた思い出があります。何はともあれその街や人々が季節ごとの催事で活気付くのは良い事ですね。(余談ではあります。札幌祭りに期間中は市内の学校はお休みになるそうです。知りませんでした)

北海道の短い夏が始まりましたが、皆様には健康に留意され北海道の一番良い季節を楽しんでほしいと思います。共に、平素から当事業所に対するご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。今後よろしくお祈り申し上げます。

ベトサダニュースをご覧の皆様、段々と夏に向かっています。気温の高くなるにつれ、マスクを外して歩いていく方も増えてきました。お祭りや札幌祭りの準備も、以前より進んでいます。札幌祭りの準備も、以前より進んでいます。札幌祭りの準備も、以前より進んでいます。

私自身は元々建設業界で長年仕事をしています。35年前に電気設備工事の会社に入社した時は月に休日が2日しか無かった。札幌祭りの準備期間中の15日か16日は現場は休みでありました。その休日は大概趣味である溪流釣りに行ってました。今は毎年札幌市内でもヒグマが現れるようになり危険な為、山には入らなくなりました。

さて話しは支援活動に移りまして、利用者のほうは相変わらず常に6人から10人ほど利用している状況であります。私が担当した利用者は昨年度より就労による自立が多くなってきた。お仕事の求人が増えた。お仕事の求人が増えた。お仕事の求人が増えた。



【吉田】

最後にあります。これからまた暑い夏が到来します。皆様も熱中症には気をつけてお過ごしください。

事務局より

新緑が眩い季節になりました。北海道で一番良い季節ですね。皆様はいかがお過ごしでしょうか？近年大規模な災害が多発しています。全国各地で最大震度5強、4位の強い地震が多発しています。北海道も昨日震度5位の地震があり北区内でも震度4ありました。以前のベトサダ荘は老朽化しており、大きい地震が来ると倒壊などの心配がかなり怖い思いでした。新しいシェルター及び事務所はその心配はないと思えますが、かなり大きいものだとどうなるかわかりません。どうなるだろうと心配していても仕方ないのですが、地震は突然来るのでほんとうに怖いです。

今年度コロナでの対応も全解除になり以前の支援体制になっています。札幌市の方からも生活保護主体でなく就労自立を目指して支援を行ってくださいと通達がありました。ベトサダ自体就労自立を基本に支援を行ってききましたので本来の支援を行っていただけです。コロナ過だから生活保護に移行する事はなかったのですが、利用する人が生活保護希望の人が多かったです。コロナが終息したから生活保護希望者が減ることは考えにくいのですが、生活保護に頼らない支援を行っていきま

しかし、今年度は3ヶ月経過しましたがコロナ過より今年度の方が利用者が増えているように思います。就労自立希望の方がジョインより入ってきますが、話を聞いてみると生活保護を希望する人がかなりいらつしました。ジョインで聞き取りを行い分室に配置されるのですが、ジョインの説明と本人の説明がかなり違うことも多々あります。いろいろな可能性を模索し支援していきます。今年度も変わらぬ支援活動を行ってまいります。皆様の御支援宜しくお願い致します。

【藤原】



多くの方々より、ベトサダへご寄附を受け取りました。ひと品、ひと品、支援の心がこもったお気持ち。感謝しながら、大切に使用させていただきます。

みなさまのご寄附は自立を目指す方々の生きる希望となります



◆ ご寄附 送金先 ◆

【ゆうちょ銀行】

口座番号 02720-1-45798

口座名義 特定非営利活動法人

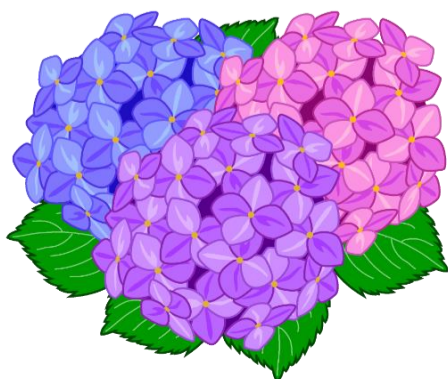
自立支援事業所 ベトサダ

【カード決済】

◆ホームページ→寄附・募金の受付→

寄附・募金サイト→寄附をする→カード決済

みなさまから託していただいたご寄附は、自立を目指す方々を支援するため、ベトサダの活動・運営のために使わせて頂きます



【寄附者様】(順不同)

4月1日～4月末日

すばる法律事務所池田様・北海道合同法律事務所石田様・一般社団法人せいかつ支援機構米谷様・上野様・大島様・株式会社スタート佐々木様・菊地様・協同組合アジアンネットワーク安達様・秀欧会福祉サービス株式会社 社対馬様・聖ベネディクト女子修道院様・山内様・力アールリンク様 匿名規模17名様

5月1日～5月末日

株式会社スタート佐々木様・菊地様・協同組合アジアンネットワーク安達様・櫻井様・秀欧会福祉サービス株式会社 社対馬様・中川様・峰崎様・力アールリンク様 匿名希望17名様

更に、4月は3名、5月も1名の方よりご寄附を頂きました。心よりお礼申し上げます。

ご寄附の際に、掲載「可」又は「匿名希望」のいずれかを○で囲んで頂けると助かります。尚、記載の無い方は匿名とさせていただきます。掲載可の方はお手数ですがご連絡下さい。以前いずれかの選択をされた方は登録済みですので記入無でも大丈夫です。